

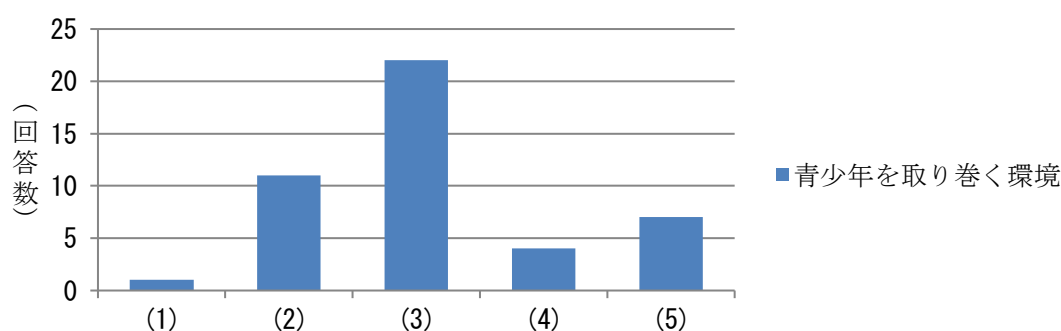
青少年育成県民会議の今後の在り方に関するアンケート結果

- 1 実施期間 令和元年 10 月 31 日（木）～令和元年 11 月 29 日（金）
- 2 実施対象 県民会議団体会員 78 団体
- 3 回収率 58%（回答 45 団体）

1 青少年を取り巻く環境等について

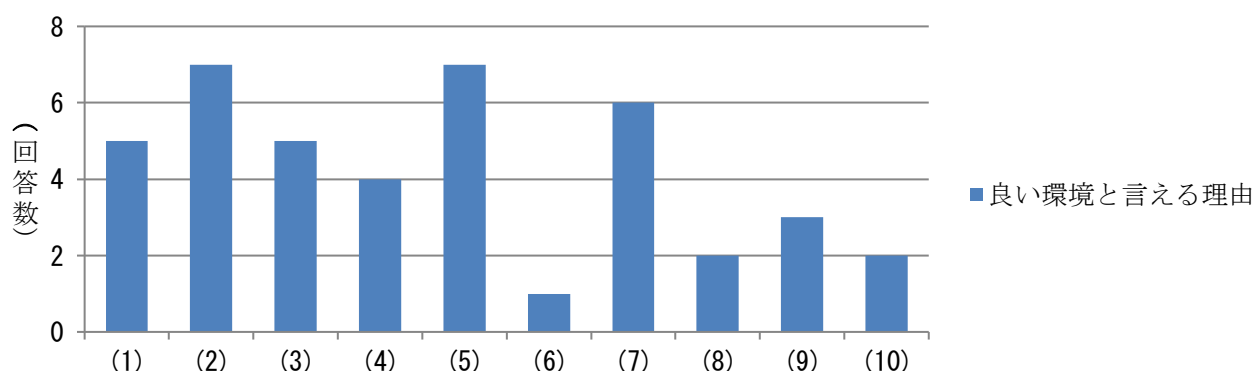
Q1 現在の青少年を取り巻く環境についてどうお考えですか。

- (1) 良い環境である
- (2) どちらかと言えば良い環境である
- (3) どちらかと言えば良い環境ではない
- (4) 良い環境ではない
- (5) どちらとも言えない



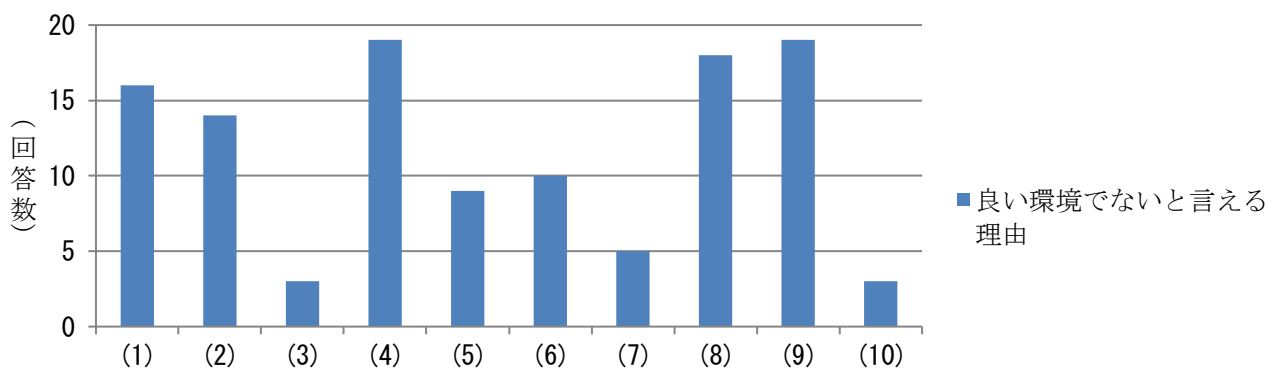
Q2 Q1で「良い環境である」「どちらかと言えば良い環境である」と答えた方にお尋ねします。「良い環境である」と判断した理由は何でしょうか。（5つまで選択可）

- (1) 生活水準が高まり、衣食住ともに満ち足りた生活を送ることができる
- (2) 社会資本の整備が進み、生活全般において利便性が高まっている
- (3) 情報技術革新やグローバル化の進展等により、各分野で活動の場の選択肢が広がっている
- (4) 女性の社会進出が進み広く活躍するなど、多様な人材が働きやすい環境が整ってきている
- (5) インターネットが普及し、いつでもどこでも誰でも様々な情報を得ることができる
- (6) 学生への就労支援や各種相談機関の充実など、青少年へのサポート体制が充実している
- (7) 大学への進学率が高まるなど、初等教育から高等教育まで教育環境が充実している
- (8) 保育園や児童館等の整備が進み、子育てや子どもの成長に関する環境が良好である
- (9) 仕事第一の社会風潮が変わり、家庭を大事にする方向へと社会意識が変化している
- (10) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



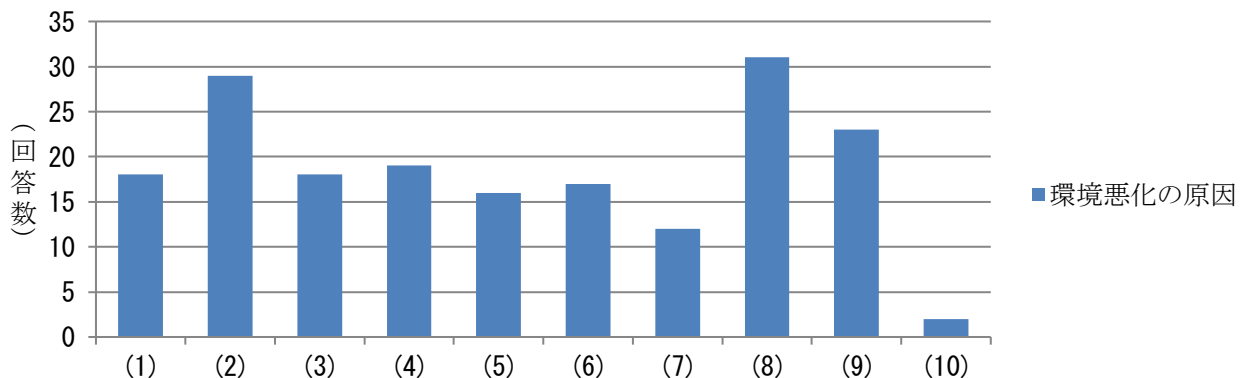
Q3 Q1で「良い環境ではない」「どちらかと言えば良い環境ではない」と答えた方にお尋ねします。「良い環境でない」と判断した理由は何でしょうか。(5つまで選択可)

- (1) 収入、就業、学歴、家庭環境など、各分野で二極化とその固定化が進んできている
- (2) 少子高齢化、人口減少社会の到来により、若者の負担が増大する方向にある
- (3) 終身雇用・年功序列型システムの縮小、成果主義など、雇用・労働環境が変革している
- (4) ニート、ひきこもり、不登校など、社会生活上の困難を抱える者が増えている
- (5) 地縁、血縁のつながりが弱まり助け合いの心や協調心などが希薄になってきている
- (6) 自然や自由に遊ぶ場所が少なく、創造力や豊かな感性などが育ちづらい環境にある
- (7) 休日も塾や習い事等に追われゆとりがなく、じっくり考える時間が少なくなっている
- (8) 児童生徒間のいじめがなくなり、スマホが普及する中でその弊害も多く見られる
- (9) ゲーム、SNS等の広範な普及などにより、青少年のコミュニケーション能力が低下している
- (10) その他 (具体的に記載下さるようお願いいたします)



Q4 Q1のお答えに関わらず皆さんにお尋ねします。青少年を取り巻く環境に少しでも厳しいものがあると考える場合、その原因としては何が考えられますか。(5つまで選択可)

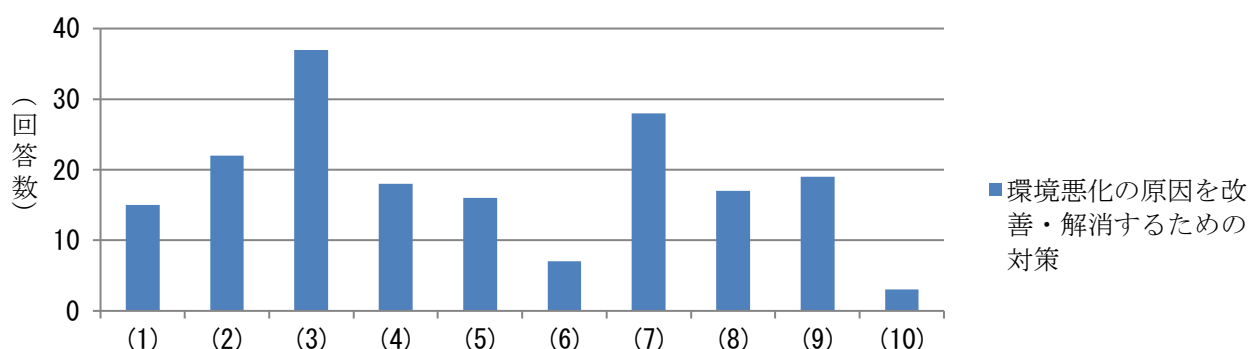
- (1) 雇用・所得環境等国内経済の動向
- (2) 少子高齢社会の急速な進展
- (3) インターネットであらゆるものがつながる社会の到来
- (4) 都市への集中と地方の過疎化
- (5) 生産性や効率重視、成果主義・能力主義の台頭
- (6) 価値観の多様化と個人主義の伸長
- (7) 核家族化と共稼ぎ家庭の増加
- (8) 学校生活上での困難な状況 (いじめ問題、不登校・ひきこもり等)
- (9) SNS利用者の急速な拡大
- (10) その他 (具体的に記載下さるようお願いいたします)



Q5 Q4の環境悪化の原因をいくらかでも改善・解消していくためには、どのような対策が必要と考えられますか。(5つまで選択可)

- (1) 国そして地方における経済の活性化の推進
- (2) 地方における都市部と農村部とが共に自立できる地域社会の確立
- (3) 若者が安定して働く場の確保と高齢者が社会に貢献できる仕組みの構築
- (4) 国や企業などによるすべての人が働きやすい*ダイバーシティ社会の実現
- (5) 国等による多様なセーフティーネットの制度化の実現
- (6) モノや金銭に過度に価値を置かない生活スタイルの普及拡大
- (7) 教員増によるきめ細かで目の届く指導体制の確保と教員の質の向上
- (8) ハードからソフトまでの子育てにやさしい環境の整備
- (9) インターネットを良い方向に活用できる能力の育成や環境の整備
- (10) その他(具体的に記載下さるようお願いします)

*ダイバーシティ:「多様性」を意味。性別や人種・国籍・年齢などの違いを受け入れ多様な人材を活かすこと



《まとめ》

- ・ 青少年を取り巻く環境については、「良い環境ではない」「どちらかと言えば良い環境ではない」との回答が全体の57.7%を占めており、その理由としては、「社会生活上の困難を抱える若者の増加」「SNS等の普及とコミュニケーション能力の低下」「児童生徒間のいじめ」「各分野での二極化の進行」「少子高齢化による若者の負担の増大」が高い割合を占めています。

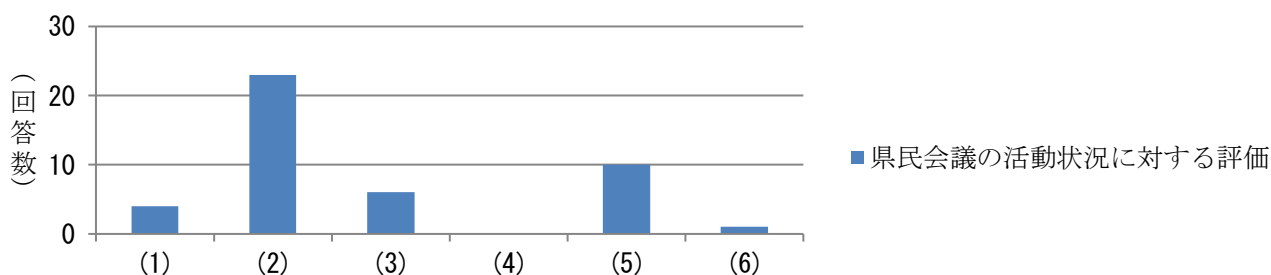
前回H26アンケート調査と比べ、「良い環境ではない」「どちらかと言えば良い環境ではない」とする回答は減少(70.5%→57.7%)しており、良い環境ではないと判断した理由として「雇用・労働環境」をあげた割合が減少(14.2%→2.6%)する一方、「児童生徒間のいじめ」の割合の増加(3.9%→15.5%)が見られます。

- ・ また、青少年を取り巻く環境が悪化している原因としては、「学校生活上での困難な状況」「少子高齢化の急速な進展」「SNS利用者の急速な拡大」、次いで「都市への集中と地方の過疎化」「雇用・所得環境等国内経済の動向」「インターネット社会の到来」が比較的高い割合を占めており、そうした環境を改善していくために必要な対策としては、「若者の働く場所の確保と高齢者が社会貢献できる仕組みの構築」(20.3%)、「教員増による指導体制の確保等」(15.4%)が高い割合を占めています。

2 県民会議の在り方等について

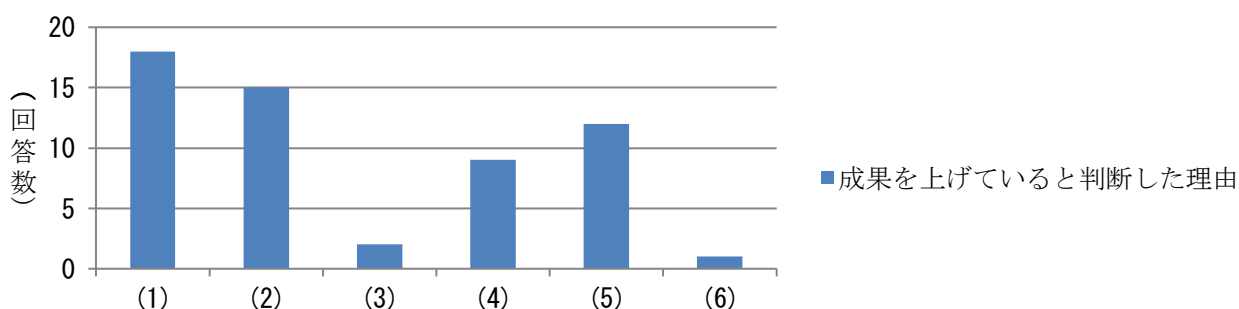
Q6 ここからは県民会議についてお尋ねします。現在の県民会議の活動状況について、どのように評価されていますか。

- (1) 期待どおりの成果を上げている
- (2) どちらかと言えば成果を上げている
- (3) どちらかと言えば成果が上がっていない
- (4) 思うような成果が上がっていない
- (5) どちらとも言えない
- (6) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



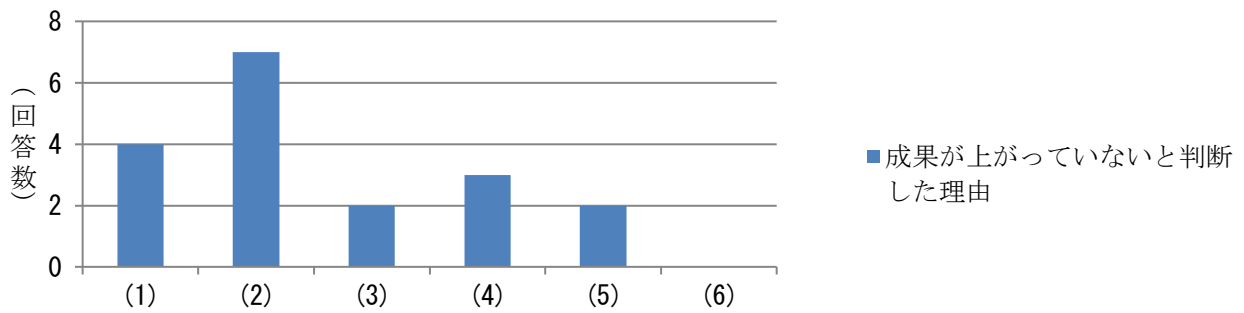
Q7 Q6で「期待どおりの成果を上げている」「どちらかと言えば成果を上げている」とお答えした方にお尋ねします。「成果を上げている」と判断された理由は何でしょうか。
(3つまで選択可)

- (1) 青少年団体との関係が良好であり、連携のとれた事業展開を推進している
- (2) イベントへのボランティアの参加や様々な研修を通じて人材育成に力を入れている
- (3) 盛岡地区の活動が主だが、沿岸でのセミナー開催など、全県的な事業展開に努めている
- (4) 自主財源が少なく県の委託料に頼っているが、様々な工夫をして事業を実施している
- (5) 体制は小規模だが、少ない人員の中でそれぞれ力を尽くし、事業に取り組んでいる
- (6) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



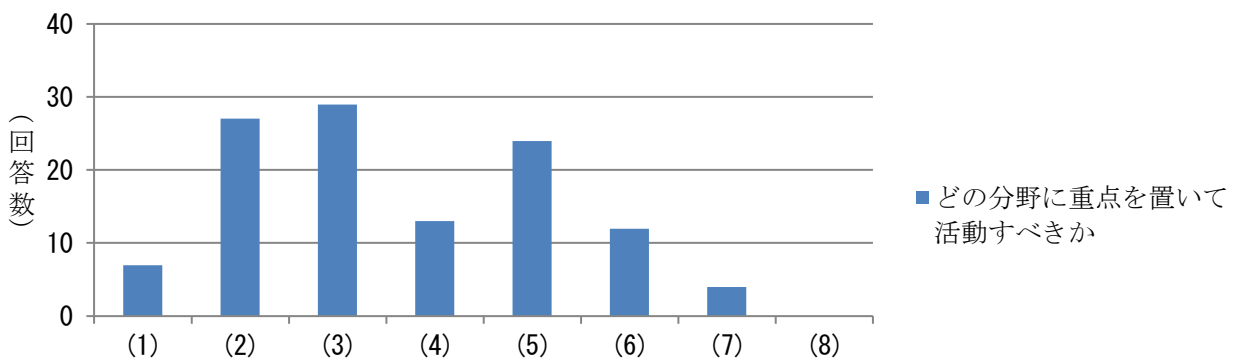
Q8 Q6で「思うような成果が上がっていない」「どちらかと言えば成果が上がっていない」とお答えした方にお尋ねします。「成果が上がっていない」と判断された理由は何でしょうか。 (3つまで選択可)

- (1) 青少年団体との支援協力関係が弱まっており、県民会議の名に相応しい活動がない
- (2) イベントや単発の研修はあるが、次代を担う人材を育成する継続的な取組がない
- (3) 活動が盛岡地区中心であり、県民会議と冠しながら全県的な事業展開が見られない
- (4) 自主財源が少なく、県からの委託料、補助金で運営され、独自の事業展開が難しい
- (5) 職員数が少なく、多様な青少年問題に対応した十分な事業展開ができない
- (6) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



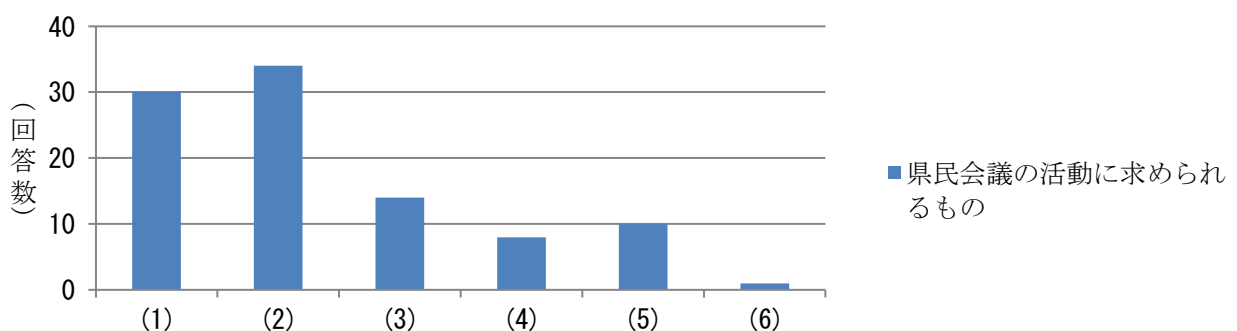
Q 9 県民会議としては、今後どのような分野に重点を置いて活動を進めていくことが必要であるとお考えですか。(3つまで選択可)

- (1) 全国的なネットワークも活用し、行政が必要な対策を講じるよう、強力な働きかけを実施
- (2) 地域が有する自然や文化等の資源を活かし、若者が地域に誇りを持てる活動を実施
- (3) 次代の若者リーダーやボランティアの中心的人材など、将来の社会を担う人材の育成を推進
- (4) 多様な団体との新たなネットワークの構築とそのメンバー間の効果的連携のもとで事業を推進
- (5) 社会生活上の困難を抱える若者への総合的なサポートができる体制の構築と支援を推進
- (6) 家族の役割や家庭の大切さを再認識し広く呼びかけていく取組を推進
- (7) これまで通りの方針に基づき各種事業を実施
- (8) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



Q10 Q 9でお尋ねした活動を進めていくために、県民会議に求められるものとして何があると考えられますか。(3つまで選択可)

- (1) 中長期の視点に基づく将来を見据えた計画的な取組を推進する
- (2) 関係団体との連携交流がさらに深まるような活動を推進する
- (3) 県からより強いバックアップを受ける
- (4) 会員の拡充など自主財源の確保を図る
- (5) 職員体制を充実強化する
- (6) その他（具体的に記載下さるようお願いいたします）



《まとめ》

- ・ 県民会議の活動については、「期待どおりの成果を上げている」「どちらかと言えば成果を上げている」が全体の 60.0%（前回 H26 アンケート調査 50.0%）、「どちらかと言えば成果が上がっていない」「思うような成果が上がっていない」が 13.3%（同 25.0%）となっています。
- ・ 「成果を上げている」と判断した理由としては、「青少年団体との連携が良好であり、連携のとれた事業展開を推進している」「イベントへのボランティアの参加や様々な研修を通じて人材育成に力を入れている」「体制は小規模だが、少ない人員の中でそれぞれ力を尽くし、事業に取り組んでいる」が比較的高い割合を占めており、一方、「成果が上がっていない」と判断した理由としては、「イベントや単発の研修はあるが、次代を担う人材を育成する継続的な取組がない」が最も高い割合を占め、次いで「青少年団体との支援協力関係が弱まっており、県民会議の名に相応しい活動がない」となっています。何れにしても「青少年団体との連携」と「次代を担う人材の育成」が評価のポイントとなっていることが伺えます。
- ・ 「今後どのような分野に重点をおいて活動すべきか」については、「将来の社会を担う人財の育成の推進」、「地域資源を活かし若者が地域に誇りを持てる活動の推進」が高い割合を占めており、次いで「社会生活上の困難を抱える若者支援の推進」、「家族の役割や家庭の大切さを再認識する取組の推進」の順となっています。
- ・ これらの活動を進めるために「県民会議に求められるもの」としては、「関係団体との連携交流が深まるような活動を推進」「中長期の視点に基づく将来を見据えた活動を推進」が高い割合を占めており、両者で全体の 66.0%となっています。

Q11 日ごろ県民会議に対して感じられていること、考えられていることなど、何でもご自由に記載下さるようお願いいたします。

- 青少年の健全育成に関して関係機関との連携により様々な事業展開がなされていること、青少年活動への補助事業についても感謝している。今後、各地方からも参加しやすいよう研修会・会議等の地方開催を検討願いたい。
- 様々な活動が行われており、何らかの形で参加することもあるが、「県民会議」又は「青少年活動交流センター」などという名称は知名度があまりないように思う（地方と中央の関係なのかな？）アンケートの答えもそんな意義の表れだと思います。
- SDGs を推進していただきたいです。県内で一番 SDGs を推進する民間団体である。我々も何かあればご協力させていただきます。
- 相対的貧困率で言えば、7人に1人が貧困状態にあるといわれているが、現在の日本の貧困対策は親の所得だけに目を向けたものとなっている。しかし、広い意味での子どもの貧困は、「貧」だけでなく「困」の問題もある。その意味で、県民会議の事業は「困」＝（イコール）「子どもの幸福」という面で優れた対策となっている部分が大い。その事業に、はまれなくて困っている子をどう助けてゆくのか？期待は大きい。
- 青少年の健全育成に関する様々な事業の推進及び支援をしていただいていることに敬意を表します。
- 情報メディア等の講師派遣事業について活用させていただいています。ありがとうございます。
- いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- 学生から社会人として働きに出ると、ボランティアとして県民会議等の活動をする時間がないなどがあり、気軽に参加できるような体制があると良い。やりたくてもやれない状況にある人たちが多く感じられる。
- 関係団体との情報共有と連携の強化。県による具現化の提示を希望します。
- 当協会が推進している少年の健全育成、非行防止等の活動につきまして、いつもご協力を頂き、感謝しております。今後とも協力して青少年のために活動を推進してまいりますので御理解と御協力をお願い致します。
- 現在の職員体制で充実した事業を展開されていることに感謝申し上げたい。
 - 1 青少年育成支援事業
 - 2 自立と社会参加推進事業
 - 3 家庭づくり・健全な環境づくり事業どれも意義ある事業で多くの事業の展開には大変な労力と財政的な経費もかかる。できれば職員体制を充実することが必要であり、行政への支援を増大させるべきである。又、県民会議の全市町村の加入促進が必要である。
- 自主財源の確保が最も重要。しかし一番難しい。
 - ・会員の拡充、会費の増額
 - ・事業活動（自主事業）による収入の確保～NPO 未来図書館が行っている事業（学校教育の中に取り入れられている）
 - ・寄付（これがきつい仕事。しかし役職員が一丸となって取り組むことが必要）
 - ・県からの受託事業をしっかりと確保。競争相手がいるということ意識
 - ・収益事業～限界ありか。
- 多くの事業をされていますが、こちらの都合で参加する機会があまり多くありませんので回答は不十分なところがあります。市町村民会議が県内の半分というのが気になりました。
- 様々な啓発的行事等の開催により、より多くの県民に貴重な情報が伝えられていると思います。今後もそのような情報を伝える場を盛岡以外の県北、県南、沿岸地区に広げ、より多くの県民が、問題意識や課題意識を共有できるようになればと思います。

役員や事務局の皆様には感謝いたします。

- 会議等への駐車場の確保
- ピンポイントの支援、包括的・計画的な支援が望ましいが、現実には難しい。将来的なビジョンから、子どもたちの声や置かれている現状を理解することが大事。社会と青少年を切り離して議論してはけない。組織横断的に直接的な関りをもてる機会・取り組みをより大切にしてほしい。例えば子ども食堂のように。
- 通年でたくさんの事業を開催されておりますが、皆様のご努力、経験が活かされていると思います。今後とも青少年の育成に精進いただければと思います。赤十字の青少年赤十字（JRC）活動も活発に行いたいと思います。